

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第1部門第1区分
【発行日】平成17年11月10日(2005.11.10)

【公表番号】特表2001-512988(P2001-512988A)

【公表日】平成13年8月28日(2001.8.28)

【出願番号】特願平10-538603

【国際特許分類第7版】

C 1 2 N 15/09

A 0 1 H 5/00

C 1 2 N 5/10

【F I】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

A 0 1 H 5/00 A

C 1 2 N 5/00 C

【手続補正書】

【提出日】平成17年2月25日(2005.2.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

手続補正書

平成17年 2月25日

特許庁長官殿

1. 事件の表示

平成10年特許願第538603号



2. 補正をする者

氏名(名称) シンジェンタ・パティシペーションズ・
アクチェンゲゼルシャフト

3. 代理人

住所 〒540-0001
大阪府大阪市中央区城見1丁目3番7号 IMPビル
青山特許事務所
電話 06-6949-1261 FAX 06-6949-0361

氏名 弁理士 (6214) 青山 葆



4. 補正対象書類名 明細書および請求の範囲

5. 補正対象項目名 明細書および請求の範囲



書 上

6. 補正の内容

- (1) 請求の範囲を別紙のとおり補正する。
- (2) 明細書6頁13行目「操作しやすいように」とあるを、「作動可能なように」と補正する。
- (3) 明細書6頁22行目「操作しやすいように」とあるを、「作動可能なように」と補正する。
- (4) 明細書6頁23～24行目「操作しやすいように」とあるを、「作動可能なように」と補正する。
- (5) 明細書6頁27行目「操作しやすいように」とあるを、「作動可能なように」と補正する。
- (6) 明細書7頁2～3行目「操作しやすいように」とあるを、「作動可能なように」と補正する。
- (7) 明細書7頁6行目「操作しやすいように」とあるを、「作動可能なように連結した」と補正する。
- (8) 明細書7頁10行目「操作しやすいように」とあるを、「作動可能なように」と補正する。
- (9) 明細書7頁24行目「操作しやすいように」とあるを、「作動可能なように」と補正する。
- (10) 明細書7頁25行目「操作しやすいように」とあるを、「作動可能なように」と補正する。
- (11) 明細書9頁11行目「操作しやすいように」とあるを、「作動可能なように」と補正する。
- (12) 明細書9頁20行目「操作しやすいように」とあるを、「作動可能なように」と補正する。
- (13) 明細書9頁28行目「操作しやすいように」とあるを、「作動可能なように」と補正する。
- (14) 明細書10頁5行目「操作しやすいように」とあるを、「作動可能なように」と補正する。

(15) 明細書10頁11行目「操作しやすいように」とあるを、「作動可能なように」と補正する。

(16) 明細書16頁15行目「操作しやすいように」とあるを、「作動可能なように」と補正する。

(17) 明細書27頁25～26行目「操作しやすいように」とあるを、「作動可能なように」と補正する。

(18) 明細書28頁10～11行目「操作しやすいように」とあるを、「作動可能なように」と補正する。

(19) 明細書30頁1行目「操作しやすいように」とあるを、「作動可能なように」と補正する。

(別紙)

請 求 の 範 囲

1. (a)前毒素から毒素への変換を触媒する酵素をコードするコーディング配列に作動可能なように連結した雌優先的プロモーターを含む条件的雌性不稔性植物を作成すること、
(b)条件的雌性不稔性植物と雄性不稔性植物を混植すること、
(c)前毒素を条件的雌性不稔性植物に適用することにより雌性不稔性を誘発すること、および
(d)ハイブリッド種子を作成すること、
を含む、ハイブリッド種子を作成する方法。
2. 当該植物が通常の自家受粉した植物である請求項1記載の方法。
3. 当該植物が通常の交配受粉した植物である請求項1記載の方法。
4. 当該通常の自家受粉した植物が小麦である請求項2記載の方法。
5. 当該通常の自家受粉した植物が大麥である請求項2記載の方法。
6. 当該通常の交配受粉した植物がメイズである請求項3記載の方法。
7. 当該雌優先的プロモーターを、修飾されたS13プロモーター、Stig1プロモーター、AGL5プロモーター、TTS1プロモーター、ZAG2プロモーター、Fbp7プロモーター、Fbp11プロモーター、B200i4-2クローンから単離されるプロモーター、P26クローンから単離されるプロモーター、およびP19クローンから単離されるプロモーターからなる群より選択した請求項1記載の方法。
8. 当該雌優先的プロモーターがB200i4-2クローンから単離されるプロモーターである請求項7記載の方法。
9. 当該雌優先的プロモーターがP26クローンから単離されるプロモーターである請求項7記載の方法。
10. 当該雌優先的プロモーターがP19クローンから単離されるプロモーターである請求項7記載の方法。
11. 前毒素から毒素への変換を触媒する酵素をコードする当該コーディング配

列が、argE遺伝子、P450_{sul}モノオキシゲナーゼ遺伝子およびpehA遺伝子からなる群より選択した遺伝子より得られる請求項1記載の方法。

12. 当該コーディング配列がargE遺伝子より得られる請求項11記載の方法。
13. 当該前毒素がアセチルホスフィノトリシンである請求項1記載の方法。
14. 請求項1記載の方法により作成したハイブリッド種子。
15. 目的のコーディング配列に作動可能なように連結した雌優先的プロモーターを含む発現カセット。
16. 当該目的のコーディング配列が、前毒素から毒素への変換を触媒する酵素をコードする請求項15記載の発現カセット。
17. 当該コーディング配列が、argE遺伝子、P450_{sul}モノオキシゲナーゼ遺伝子およびpehA遺伝子からなる群より選択した遺伝子より得られる請求項16記載の発現カセット。
18. コーディング配列がargE遺伝子から得られる請求項17記載の発現カセット。
19. コーディング配列がP450_{sul}モノオキシゲナーゼ遺伝子から得られる請求項17記載の発現カセット。
20. コーディング配列がpehA遺伝子から得られる請求項17記載の発現カセット。
21. 当該雌優先的プロモーターを、修飾されたS13プロモーター、Stig1プロモーター、AGL5プロモーター、TTS1プロモーター、ZAG2プロモーター、Fbp7プロモーター、Fbp11プロモーター、B200i4-2クローンから単離されるプロモーター、P26クローンから単離されるプロモーター、およびP19クローンから単離されるプロモーターからなる群より選択する請求項15記載の発現カセット。
22. 当該雌優先的プロモーターがB200i4-2クローンから単離され、目的のコーディング配列がargE遺伝子から得られる請求項16記載の発現カセット。
23. 当該雌優先的プロモーターがP26クローンから単離され、目的のコーディング配列がargE遺伝子から得られる請求項16記載の発現カセット。
24. 当該雌優先的プロモーターがP19クローンから単離され、目的のコーディン

グ配列がargE遺伝子から得られる請求項16記載の発現カセット。

25. 受け入れ番号がNRRL B-21920であるゲノムB200i4-2クローンから単離される雌優先的プロモーター。

26. 当該プロモーターには、配列番号11のヌクレオチド1から1390が含まれている請求項25記載の雌優先的プロモーター。

27. 受け入れ番号がNRRL B-21655であるゲノムP26クローンから単離される雌優先的プロモーター。

28. 当該プロモーターが配列番号2に示す配列に含まれる請求項27記載の雌優先的プロモーター

29. 受け入れ番号がNRRL B-21919であるゲノムP19クローンから単離される雌優先的プロモーター。

30. 当該プロモーターが、配列番号14のヌクレオチド1から1093に含まれている請求項29記載の雌優先的プロモーター。

31. 請求項15記載の発現カセットを含む植物。

32. 請求項18記載の発現カセットを含む植物。

33. 請求項21記載の発現カセットを含む植物。

34. 請求項22記載の発現カセットを含む植物。

35. 請求項23記載の発現カセットを含む植物。

36. 請求項24記載の発現カセットを含む植物。

37. 請求項31記載の植物の種子。

38. 請求項32記載の植物の種子。

39. 請求項33記載の植物の種子。

40. 請求項34記載の植物の種子。

41. 請求項35記載の植物の種子。

42. 請求項36記載の植物の種子。